

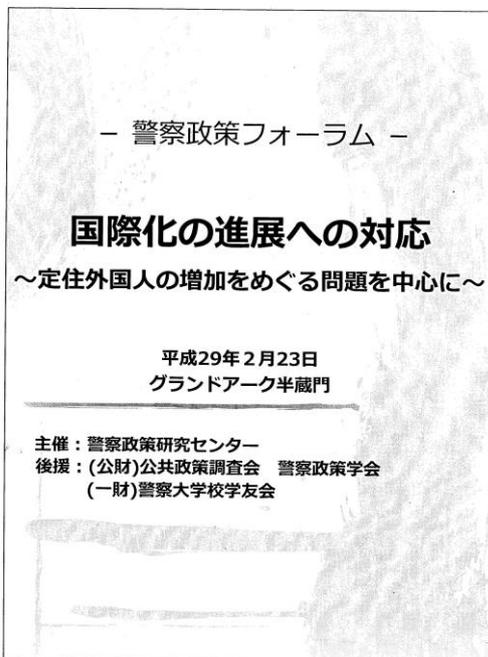


警察政策フォーラム「国際化の進展への対応」 ～定住外国人の増加をめぐる問題を中心に～

2017年2月23日（木）13:00 からグランドアーク半蔵門において、警察庁主催の頭書フォーラムが開催された。



一般に、警察庁は外国人問題に対して消極的と思われることが多いが、フォーラムに参加して分かったことは、警察は社会の安全安心を確保することを基本的任務とし、予見、予断をもっているものではない。このスタンスは、なにごとにつけ変わらない。言い換えれば、社会全般の現状に則した現実的対応を図ることに主眼があることを学んだ。



◆◆◆◆ 警察政策フォーラム ◆◆◆◆  
国際化の進展への対応  
～定住外国人の増加をめぐる問題を中心に～  
＜日 時＞  
平成29年2月23日（木）午後1時00分～午後5時30分  
＜会 場＞  
グランドアーク半蔵門 4階「富士東」  
（千代田区半蔵門1-1）  
主催：警察政策研究センター  
後援：(公財)公共政策調査会、警察政策学会、(一財)警察大学校校友会  
＜プログラム＞  
13:00 開会挨拶  
河合 潔 (警察政策研究センター所長)  
13:05 基調講演 (40分)  
庄司 克宏 (愛知淑徳大学大学院法務研究科教授)  
「グローバル化と人の移動-EUの難民と日本へのインプリケーション」  
13:45 特別講演 (60分)  
Philippe De BRUYCKER (Professor / Université Libre de Bruxelles)  
「Which crisis? The European migration and asylum policies of the EU」  
欧州におけるEUの移民政策と難民庇護政策—どちらの危機なのか？  
14:45 休憩 (10分)  
14:55 講演① (30分)  
佐々木 聖子 (法務省大臣官房審議官)  
「日本社会の安全安心をとりまく状況の変化と入管行政」  
15:25 講演② (30分)  
Piet Tolun (愛知淑徳大学大学院教授)  
「新米外国人住民を迎えて、警察の役割を考える」  
16:00 休憩 (20分)  
16:15 パネルディスカッション  
上記基調講演者及び下記パネリスト  
難波 健太 (警察庁刑事局組織犯罪対策部国際捜査管理官)  
コーディネーター 河合 潔 (警察政策研究センター所長)  
17:30 閉会  
※ 敬称略。基調講演等には、日英及び日伊の同時通訳が付きまます。

プログラムは、EUブリュッセル自由大学教授、法務省大臣官房審議官、来日歴40年Piet Tolun愛知淑徳大学教授など、本日のテーマを存分に議論する顔ぶれがそろい、中身の濃いフォーラム。改めて安心、安全を見つめるよい機会となった（麻植 茂記）。